

6. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、2025 年度 30 コースの公開研修の開催を予定しており、以下はお申込み期限間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
原子力安全基礎コース	原子力発電所に関する最新の規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み（安全設計）や事故・トラブル時の評価（安全評価）及び過酷事故時の対策など、原子力の安全に係る事項を学びます。	1月15日～1月16日（1.5日間） ＊1日単位の受講も可	12月5日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉（PWR）と沸騰水型軽水炉（BWR）を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。	1月20日～1月21日（2日間） ＊1日単位の受講も可	12月11日
安全文化コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。 原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお薦めします。	1月22日～1月23日（1.5日間）	12月12日
耐震安全コース	耐震設計の基礎（概論、地震動、新規制基準など）、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ・容器・配管並びに電気盤などの耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	1月21日～1月22日（2日間）	12月12日
クリアランス入門コース	原子炉施設の廃止措置などに伴い、「放射性廃棄物として扱う必要がないもの（クリアランス）」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。	2月5日（1日間）	12月26日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp



7. 主な報道発表（2025 年 11 月 4 日以降）

発表日	発表内容	詳細 ▼当社 HP
—	主な報道発表はございません。	—

げんでんふれあいギャラリー 2025 年 12 月催し物案内

2025 福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀作品展 <敦賀展>	会 期	2025 年 12 月 16 日（火）～2026 年 1 月 4 日（日） ＊休館日：2025 年 12 月 29 日（月）～2026 年 1 月 3 日（土）
今年で32年目を迎える「科学アカデミー賞」（主催：福井新聞社）では福井県内の小・中学生による理科研究を審査しています。 寄せられた作品の中から上位入賞した18点を展示予定です。		福井地区でもご覧いただけます。 <福井展> ・会期：12月3日（水）～7日（日） ・場所：福井新聞社「風の森ギャラリー」（福井市大和田 2-801）

お問合せ先

げんでんふれあいギャラリー
フリーダイヤル：0120-749-201
開館時間：9:30～16:30

住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16
FAX：0770-25-5603
休館日：12 月 29 日～1 月 3 日



こちらからげんでんふれあい
ギャラリーのホームページを
ご覧いただけます

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16



こちらから敦賀総合研修
センターのホームページ
をご覧ください



げんでん いんふおめーしょん 12 月号

1. 敦賀発電所の状況（2025 年 12 月 1 日現在）

プラント（炉型）	状 況
1 号機（沸騰水型） 	●廃止措置中 （2017 年 4 月 19 日 ～ 2047 年度） ○2015 年 4 月 営業運転終了 ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024 年 10 月 1 日～） ○軽油貯蔵タンク他解体工事（2025 年 4 月 21 日～） ＊廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2 号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW，1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0 億 kWh ●第 18 回定期検査中 （2011 年 8 月 29 日 ～） 2 号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査 2025年9月16日より、現地における追加調査を行っています。 掲載している写真は「K断層の分布と性状調査」を目的とした作業の一つとして、ピットを掘削する前に地層の状況を把握するためのボーリングを行っているものです。 引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。 当社は、2号機の再申請、稼働に向けて取り組むとともに、当社の取り組み状況等について、地域の皆さまへの、丁寧な情報発信に努めてまいります。
 【K断層の分布と性状】 D-1トレンチでのボーリング	D-1 トレンチでの追加調査 (1) K断層の分布と性状調査 (2) K断層の活動性調査 (3-1) K断層の連続性調査 (3-2) K断層の連続性調査（原子炉建屋側への追跡調査） 補足：本図の K 断層は露頭に観察した位置を示したもの
 約200m 2号機	D-1 トレンチ南方での調査 (3-2) K断層の連続性調査（原子炉建屋側への追跡調査） (4) 原子炉建屋周辺の地質、破砕帯の活動性等（調査坑による岩盤中での面的な調査） 補足：本図の K 断層は標高-15mにて推定される位置を示したもの

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況（2025 年 12 月 1 日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。

敦賀発電所 3, 4 号機計画については、地元の皆さまから大きな期待を寄せていただいております。こうした期待に応えるべく、引き続き国のエネルギー政策や安全規制に係る状況などを踏まえながら、実現に向けた取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況（2025 年 11 月 25 日撮影）

3. トピックス

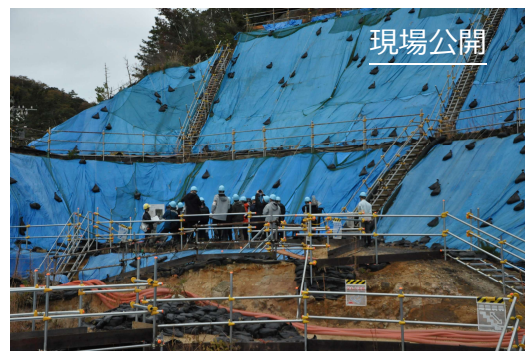
（１）敦賀発電所 2 号機 追加調査の現場を公開

敦賀発電所 2 号機の追加調査計画を 8 月 21 日に公表し、9 月 16 日より追加調査を開始しました。

この取り組みを広くご理解いただくため、11 月 19 日に、追加調査現場を、報道関係者の皆さまに公開しました。

当日は、追加調査計画の概要をご説明した後、D-1 トレンチやふげん敷地内などの調査地点を回り、ボーリングや掘削などの調査方法・調査状況をはじめ、調査場所の位置関係や規模感についてご説明しました。

現場公開の様子

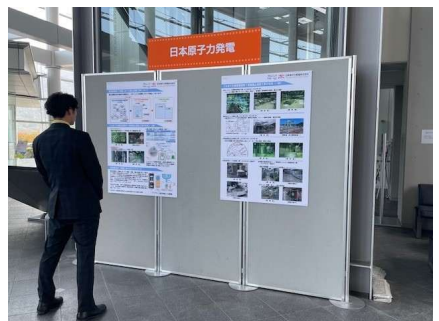


（２）「つるが国際シンポジウム 2025」に出展

11 月 14 日から 15 日にかけて、若狭湾エネルギー研究センターで開催された文部科学省主催の「つるが国際シンポジウム 2025」に当社ブースを出展しました。

本シンポジウムでは、「資源として生かす選択 福井からはじまる原子力リサイクルビジネス」をテーマに、廃止措置やクリアランス制度、福井県の原子力リサイクルビジネスの現状に興味を持ってもらえるようなプログラムで構成され、講演やパネルディスカッションの他、関係機関のブースが出展されていました。

当社は、敦賀発電所 1 号機の廃止措置工事についてポスターを掲示し、ご紹介させていただくとともに、会場に設けられたクリアランス再利用品展示ブースにて、東海発電所のクリアランス金属を使用して製作したベンチを展示させていただきました。



クリアランス・ワンポイント

Q. 敦賀発電所 1 号機の廃止措置で発生する廃棄物の推定発生量は？
A. 推定で、約 20 万トン程度と見込んでいます。

放射能レベル区分			推定発生量	割合
低レベル放射性廃棄物	L1	放射能レベルの比較的高いもの	約 40 トン	約 6 %
	L2	放射能レベルの比較的低いもの	約 1,990 トン	
	L3	放射能レベルの極めて低いもの	約 10,760 トン	
CL クリアランス制度対象物 放射性物質として扱う必要のないもの			約 7,800 トン	約 4 %
NR 放射性廃棄物でない廃棄物			約 176,000 トン	約 90 %
合計			約 196,590 トン	

CL (クリアランス制度対象物) と NR (放射性廃棄物でない廃棄物) を合わせると、廃棄物のうち **94% が再利用可能** となります。

▼ 当社 HP

クリアランス制度理解促進キャラクター **とらいクリン**

4. コミュニケーション活動

「令和 7 年度青少年のための科学の祭典福井大会」に出展

11 月 8 日、坂井市の福井県児童科学館「エンゼルランドふくい」で開催された「令和 7 年度青少年のための科学の祭典福井大会」に出展しました。

当日は約 200 名の方にご来場いただき、「放射線測定ゲーム！」や「電話機で伝言ゲーム！」等を通じて、身近にある放射線についてゲーム形式で楽しく学んでいただきました。



当社ブースでの様子

5. 次世代層への教育支援活動

当社施設で「科学探求講座」を開催

福井県内の次の 3 校の皆さまが、当社施設（敦賀原子力館および敦賀発電所 2 号機、敦賀総合研修センター、美浜原子力緊急事態支援センター）を訪問され、「科学探求講座」を開催しました。

各校のご要望に沿って、講座の受講や、当社施設の見学をしていただきました。

<敦賀高等学校 生徒 24 名様>

開催日：10 月 31 日
開催場所と内容：
① 敦賀総合研修センターでの講座・実習
「原子力エネルギー情勢と環境」
「原子力発電所の概要」
「放射線について」
② 美浜原子力緊急事態支援センターの見学（小型・中型ロボット等）

講座「放射線について」での「放射線スクリーニング」の実習

小型・中型ロボットを見学

<敦賀工業高等学校 生徒 26 名様>

開催日：11 月 5 日
開催場所と内容：
① 敦賀総合研修センターでの講座・実習
「原子力エネルギー情勢と環境」
「原子力発電所の概要」
「クリアランス研修」
「非破壊検査講義・実習」
② 敦賀原子力館および敦賀発電所 2 号機（タービン建屋）の見学

「クリアランス研修」でのクリアランスベンチの測定実習

「非破壊検査実習」

<福井南高等学校 生徒 14 名様>

開催日：11 月 14 日
開催場所と内容：
敦賀総合研修センターでの講座・実習
「クリアランス制度、放射線に関する講座」
「プラント設備」
「放射線スクリーニング概要・実習」
「熱流動に関する実習」

* この日は、「つるが国際シンポジウム 2025」ご臨席のため来福された文部科学副大臣の小林 茂樹衆議院議員が、研修センターの訓練施設と本講座をご視察されました。

「クリアランス制度、放射線に関する講座」を受講

「放射線スクリーニング実習」の講義風景をご視察される小林副大臣